



西宮ストークスバスケットボール教室 (詳細= 21 ページ)

特集 P2 ふるさとの偉人 **たまごを守る 守さん**

猪名川町公式
ホームページ



TOPICS

- P 6 地元応援！プレミアム付き商品券
8月からスタート！空き家活用支援事業
- P 8 ぶらりいながわ Cafe SARA to TEN
- P22 特派員報告 水辺の生き物を守る環境交流館
- P24 瞬トキメキ 南部 綾さん

町の人口

総人口	29,296 人	(- 21)
男	13,970 人	(- 15)
女	15,326 人	(- 6)
世帯数	12,545 世帯	(- 7)

※令和5年7月1日現在、() は前月比

守さんの娘
美裕紀さんに聞く

たまごパックを開発した 守さんはこんな人だった!?

加茂 守
1934年 - 2020年
広根地区出身

行動力バツガン!

- ◆ 思い立ったらすぐ行動
- ◆ 食べるの早い、歩くの早い、頭の回転も早い

メンタル強い!

- ◆ 無理でも諦めない、失敗しても成功するまでやり続ける

仕事愛・地元愛!

- ◆ アイデアを形にするのが大好き
- ◆ ふるさと猪名川町が大好き



好奇心旺盛!

- ◆ 何事にも興味を持つ
- ◆ 趣味が多い
- ◆ 色々なものからひらめき

頼れる存在!

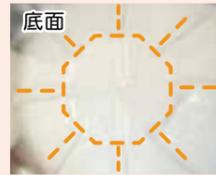
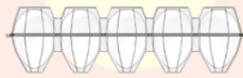
- ◆ 人に相談されると断れない
- ◆ 自分よりも人のために
- ◆ 「こんなものが欲しい」を叶えたい(開発のヒント)

性格は几帳面

- ◆ 環境問題にも熱心

開発したたまごパックはここがスゴイ!

①卵を浮かす
八角錐形



この原型は
50年以上
たった
今でも同じ

②開け方も進化
ホッチキス⇒熱着圧
⇒糸付き⇒テープ式
たまごパックをとめる
テープと機械も開発!



③環境にも優しい
リサイクル原料を
活用した素材も開発
多層 A-PET シート

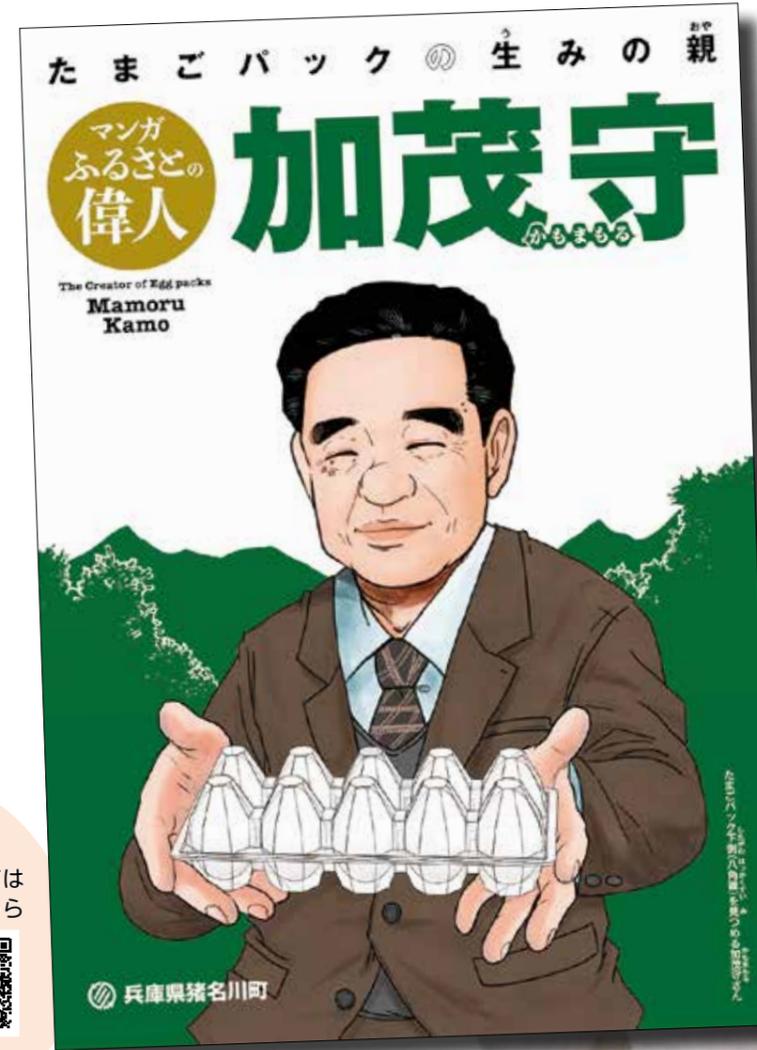
食品に触れる
部分は新しい
原料で安全!
リサイクルで
資源を大切に



④要望や需要に応じて
色々改良!フタが平面で
ラベルが貼れる
天面フラット型など



▼マンガは
こちらから



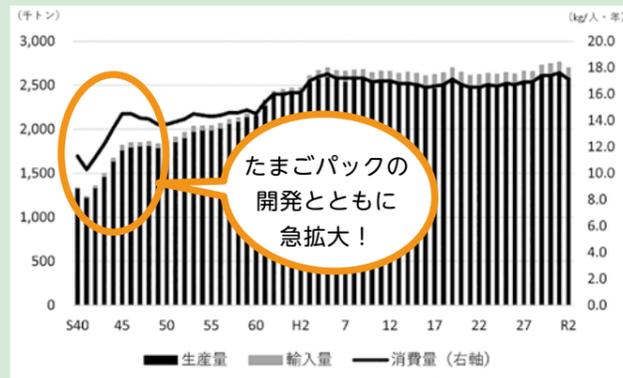
ふるさとの偉人
たまごを守る
守さん
マンガが完成しました!

私たちのまち猪名川町で生まれ育ち、身近な生活の中にある「たまごパック」を生み出したすごい人を知っていますか?今号では、ふるさとの偉人である 加茂 守さんをご紹介します。

▶問合せ 社会教育室 ☎ 767 - 2600

守さんのたまごパックの開発は 日本の卵事情に大きく影響!

鶏卵の国内生産量、輸入量および消費量の推移



グラフ参考: 農林水産省 HP 卵の自給率より

父は私が3歳の時に会社を立ち上げ、いつも忙しそうにしていました。大人になってから、会社と一緒に働くことになり、父から社長に変わっていきました。常にお客さんの声を大切にして、その要望や時代にあった商品へと開発していくのが好きな父の姿は、私にとっての誇りでした。

生まれ育った猪名川町のことを愛し、地域に恩返しをしたいという想いを強く持っていた父のことを、マンガを通じて、多くの人に知っていただくことができ、私や親戚も本当に嬉しく思っています。



加茂 守さんの娘
荒谷 美裕紀 さん

ふるさとの偉人
今では日本中のスーパーなど、どこでも当たり前に見かけ、誰もが知っているたまごパック。その容器には、人の困りごとのために全力で動き、ふるさとを愛した素敵な偉人の知恵が今も生き続けています。ふるさとの偉人 守さんの人生をマンガでぜひご覧ください。

たまごパックに人生をかけた男
卵を守るたまごパックができたのは、今から60年ほど前でした。どうしたら卵が割れない容器ができるのか試行錯誤を重ね、人生と会社をかけて開発した人が、このまちで生まれ育った加茂守さんです。守さんが開発したたまごパックはまたたくうちに日本中に広がり、たくさんの新鮮な卵が安い値段で、全国のお家庭に届くようになりました。たまごパックを製造する工場第1号も実は猪名川町にありました。

卵を守るたまごパック
卵を使った好きな料理は何ですか? 色んな料理に使われる卵ですが、落としたり当てたりするとすぐに割れてしまいます。卵を袋に入れて持ち帰ったり、たくさん運んだり、お店で積み上げて販売できるようにしたのは、たまごパックがあるからこそです。

START

1934年12月2日
中谷村広根
(現 猪名川町広根)
に4男2女の
三男として誕生

1941年4月
中谷小学校入学
(現 猪名川小学校)

1947年4月
中谷中学校入学
(現 清陵中学校)

1950年4月
伊丹市立
高等学校入学
(現 伊丹市立
伊丹高等学校)

1953年4月
大開電線入社
(住友電工子会社)
経理担当に

1958年
23歳で
西條 敏枝さんと結婚

1960年
娘 美裕紀さんが誕生

住友電工
で働く
望月 宏子さんと
出会う
※のちの
共同経営者

1963年3月
勤続10年で
大開電線退職

1963年5月
個人事業
開始

兄 弘さんの
会社の
プラスチック
製品を販売
バケツや
洗面器などが
よく売れる!



スーパー
から惣菜を
入れる容器
作成依頼



お客様の声
にこたえて、
ベビーバス
開発・販売

容器を
作成したが
強度が弱い



容器の底に
ダイヤの溝
を入れ、
強度アップ



フードパック完成!

何度も
試作し、
「八角錐形」
のパックに
たどりつく



割れないたまごパック完成

たまごパック
大好評!
急速に全国へ
広がる

1974年12月
ダイヤ化成工業
閉鎖

1977年1月
ダイヤフーズ
株式会社設立
再度操業開始

会社体制を
販売・物流・
生産の
3本柱に

生産拠点を
ふるさとの
猪名川町で
検討

1964年5月
ダイヤ化成工業
株式会社設立



中身が
見えず不評



スーパー
から卵が
割れない容器
作成依頼

弁当箱から
パルプモールド紙
を使用した容器
を思いつき紙の
たまごパック
を開発

透明で中身
が見える素材
ポリ塩化ビニル
で開発研究



散歩中に見た
こどものおもちゃ
吹上風車から
「卵を浮かす」
を思いつく



しかし、
積むと
卵が割れる
問題が

1999年
環境に配慮した
容器素材の
多層 A-PET
シートを開発

テープを
貼る機械
ハッターくん
を開発



1994年
開け口を
さらに改良
テープ式
パック完成

1983年
開け口を改良
ピィパック
(糸付きパック)



たまごパック工場第1号が操業開始



2019年
中谷工業跡地に携帯基地局設置

会社は
全国に拠点を
展開する
規模へ

2010年
会社引退
全員雇用などを
条件に別会社へ
引き継ぐことに
株式会社エフピコ
の連結子会社化

2013年
エフピコダイヤ
フーズ株式会社に
社名変更

2022年7月
たまごパック
第1号工場跡地に
看板設置

GOAL

2023年3月
マンガ
ふるさとの
偉人 発行

※下記 QR
から読書可



これからの生き方のヒントに
このたび、B & G 財団の事業を
活用した「マンガふるさとの偉人
加茂守」が、一年をかけて完成
しました。このマンガは、町内の
主に小中学校での活用を通じて、
ふるさと猪名川への興味関心、誇
りと愛着(ふるさと教育)、そし
て自らの将来の生き方や生活を考
えるきっかけ(キャリア教育)に
つなげることを目的として製作し
たものです。
激しく変化し、予測困難なこれ
からの社会で生き抜いていく子ど
もたちです。自分の頭で考えて、
ねばり強く試行錯誤を繰り返して、
人と協力しながら新しい価値を創
造していった加茂さんの生き方
は、きっと子どもたちの生き方の
ヒントになると思います。
教科書では学べないこのストー
リーに触れる子どもたちが、「ふる
さとを愛する人」、「志高く夢に挑
戦し続ける人」、「共生し自立する
人」として育ちゆく一助になると
ともに、多くの皆様に気軽に楽し
んでいただけるよう願っています。

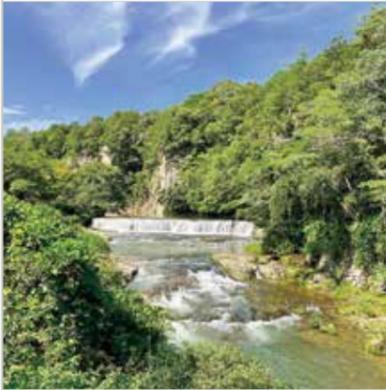


猪名川町教育長
中西 正治

みんなの写真を紹介！

SNS 発信中!

@kurumi_to_sola_3101



屏風岩

@yoshinmachikyo



楊津小まち協

猪名川町公式 SNS をフォローしているアカウントで、「#猪名川町を知ってもらおう大作戦」のタグ付けのある投稿の中から、素敵な写真を紹介します！

町公式 SNS はコチラ！
最新情報発信中！



Instagram
@inagawa_official



Facebook
@town.inagawa



ゴルゴ松本



お笑いコンビTIMとして活躍する傍ら、2011年から少年院などで「命」や「人生」をテーマにボランティア講演の活動を行っている。持ちネタである漢字の成り立ちを説明しながら、魂のこもったメッセージを送り続けているゴルゴ松本さんの講演をお届けします。

日 10月22日(日) 午後2時～(開場=1時)

所 文化体育館イナホール

¥ 前売り=大人1,000円、中学生以下500円

当日=大人1,200円、中学生以下600円

問 同館(☎766-7400) ※チケット販売場所などの詳細は町ホームページ



いながわ

100万歩
チャレンジ



日 9月16日(土)～12月24日(日)の100日間

内 ①100万歩コース ②75万歩コース ③50万歩コース

④100日体操コース ⑤50日体操コース

対 町内在住・在勤の18歳以上の人

定 先着300人

申 問 全戸配布のチラシ(申込書)に必要事項を記入し、1～15日に持参、郵送、FAX、電子申請で保健センター(☎766-1000、☎766-4414) ※役場住民課、日生住民センター、ふらっと六瀬、スポーツセンター、中央公民館へ申込書の提出も可、詳細は町ホームページ



日 とき 所 ところ 内 内容 対 対象 定 定員 申 申込 問 問合せ



10,000円で**13,000円**分のお買い物ができるお得な商品券

地元応援！プレミアム付き商品券

町内の店舗でお得に利用できる「地元応援！プレミアム付き商品券」を販売します。

¥ 1冊10,000円(1,000円×13枚) ※1冊の内11,000円分は全店共通、2,000円分は大型店以外の店舗で使用可、1世帯最大3冊まで購入可

申 8月15日(消印有効)までに広報いながわ8月号と同時配布の「チラシの専用往復ハガキ」に必要事項を記入のうえ、商工会へ郵送(多数抽選)

問 同会(☎766-3012) ※詳細はホームページ



ひょうご家計応援キャンペーン

プレミアム付デジタル券「はばタンPay+(プラス)」



県では、スマートフォン用アプリ「はばタンPay+(プラス)」を使って利用できるデジタル券を販売します。※申込方法などの詳細は、7月下旬に県ホームページにて公表予定



一般枠(県内在住の人※子育て世帯含む)

= 1口6,250円分を5,000円※1人4口まで

子育て応援枠(18歳以下の子どもがいる全世帯)

= 1口7,500円分を5,000円※1世帯2口まで

問 同事業事務局(☎050-2018-3367)

8月からスタート！

空き家活用支援事業

長年放置したことにより、近隣の人や通行人に被害を与えるかもしれない「空き家」。これまで、市街化調整区域の空き家に限り支援事業を行ってきましたが、今年度から町内全域の空き家が支援対象となります。

申 問 都市政策課(☎766-8704)

※申請期限は12月28日まで、詳細は町ホームページ



NEW 空き家活用支援事業

築20年以上経過したもので、空き家の期間が6か月以上などの条件を満たせば、一戸建ての空き家を住宅・事業所・地域交流拠点として活用するための改修工事費の一部を助成。

¥ 戸建て=最大225万円 事業所=最大337.5万円 地域交流拠点=最大750万円



NEW 住宅の除去費用を補助

既存住宅を除去(解体)し、新たに住宅を新築する若年世帯または子育て世帯に対し、除去費用を30万円補助。

空き家対策セミナー

～所有する空き家の今後を考えてみませんか～

日 9月3日(日) 午前10時～正午

所 文化体育館小ホール

¥ 無料

申 問 (一社)古民家再生協会兵庫第一支部
(☎790-1414)

広報いながわ 2023 (R5) .8

